

①取組主体	
名称	: チューリップを語る会
担当窓口	: 担当課(者) 富山県高岡農業普及指導センター 園芸畜産課園芸班(西村)
住所	富山県高岡市赤祖父211
電話	0766-26-8476 FAX 0766-26-8479
E-mail	satoshi.nishimura@pref.toyama.lg.jp

団体等の種類	: 農林漁業者
構成員数	: 30人
活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無	: 無
②連携している団体等の有無: 有	
→ (有の場合) 連携している団体の属性(複数回答可、主な団体等のみ): 学校	
③取組地域	富山県高岡市
④取組開始時期・経緯(動機含む)	
高岡市に在住する球根栽培農家やチューリップが大好きな一般市民が、「チューリップ」をキーワードに集い、自由な発想のもと高岡市のチューリップを広く市内外にアピールし、地域の活性化を図ることを目的として、平成5年に「チューリップを語る会」を設立。 現在、チューリップ球根・切り花生産者を中心に、普及指導センター・農業技術センターの花担当者等により構成されている。	
⑤目的(目標)	
「チューリップを語る」としての事業内容(下記)のうち、「高岡のチューリップをPRするための活動」の一環として、地元中学校において、チューリップ花壇の設置支援を行っている。また、地元の幼稚園、保育園の卒園児全員にチューリップ切り花をプレゼントする活動も行っている。 ※「チューリップを語る会」の事業内容 1)高岡のチューリップをPRするための活動 2)チューリップ生産に新しい活路を拓く活動 3)会員のチューリップに関する知識を高めるための活動	
⑥参加者数・属性推移	
・地元中学校(1校) 全学年(300人) (平成16年～現在) ・市内の幼稚園、保育園(計60ヶ所) 卒園児(1,700人程度) (平成8年～現在)	
⑦経費(概算)	
・植え付け支援 球根代15万円(学校、一部負担) ・切り花プレゼント 切り花代20万円(市・JA、一部負担)	

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

＜植え付け支援＞

- ・地元中学校と直接的に連携し、植え付け品種の選定、植え付け日の設定等を行っている。
- ・学校側では授業の一環ではなく、放課後の時間帯を利用した自主的活動として位置づけている。（例年、ほぼ全校生徒が参加している）

＜切り花プレゼント＞

- ・「市教育委員会」と連携し、卒園式当日にチューリップ切り花の配布を行なっている。

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

＜植え付け支援＞

- ・「チューリップを語る会」の会員との交流により、チューリップに対する関心が高まった。
- ・花による校内美化の意識が高まった。

＜切り花プレゼント＞

- ・園児、家族において、地元産のチューリップ切り花に対する認識が高まった。

⑩今後の構想、課題

- ・地域全体のチューリップに対する認識向上のため、今後とも園児、中学生を対象とした取り組みを継続することとしている。

⑪その他